

平成22年度一般会計当初予算説明資料

4款 衛生費

2項 環境衛生費

公園自然課（内線：7872）→事業実施：水・大気環境課

4目 環境保全費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (財産収入)	一般財源	
ラムサール条約湿地 “中海”登録5周年 事業	20,905	1,011	19,894			3,000	17,905	
トータルコスト	27,359千円（前年度 7,639千円）[正職員：0.8人]							
主な業務内容	5周年事業の企画・運営に係る関係機関等との調整、情報発信など							
工程表の政策目標（指標）	ラムサール条約湿地“中海”の環境保全と賢明利用の推進のため、湖沼の水質改善や環境学習など、地域住民と連携した取組を行う。							
事業内容の説明								
1 事業の目的								
<p>中海のラムサール条約湿地登録5周年を記念し、島根県及び関係自治体等と連携し、条約の趣旨である「環境保全」と「賢明利用（ワイズユース）」の重点的な普及啓発を行うとともに、住民活動等の取組を支援するための仕組みを再構築する。</p>								
2 事業内容								
(1) 鳥取・島根両県連携事業 12,984千円								
<p>ア ラムサール条約登録5周年記念展示（10,950千円）</p> <p>中海・宍道湖両湖の歴史やくらし、生物多様性、環境保全活動等について、過去から現在を学び、次世代につながる取組を推進する。</p> <p>イ ラムサール条約登録5周年記念シンポジウム（1,500千円）</p> <p>ウ 両県及び韓国の子どもの交流（500千円）</p> <p>エ 中海・宍道湖一斉清掃（34千円）</p>								
(2) 中海の自然再生協働事業 416千円								
<p>「中海の再生と賢明利用を考える会」の開催、「中海ポスターコンクール」における県表彰</p>								
(3) みんなで守る中海の自然環境保全推進事業補助金 4,000千円【新規】								
<p>中海及びその上流地域において自治会や環境保全団体等が行う環境保全や賢明利用につながる活動について、その経費の一部を助成。</p> <p>ア ハード事業 自然環境創造支援事業（補助率：1/2）</p> <p>ビオトープの保全・再生、水質浄化対策（ヨシの植栽を含む）、貝類・稚魚等の放流</p> <p>イ ソフト事業</p> <p>① 流入源対策事業（補助率：2/3）</p> <p>中海及びその上流地域における河川等の清掃活動</p> <p>② 普及・啓発事業（補助率：1/2 ※県共催の環境イベントは2/3）</p> <p>生物多様性からの地域づくりの推進、環境問題の普及・啓発活動</p>								
(4) 中海自然浄化機能回復事業 2,927千円【新規】								
<p>自然の浄化機能による持続的な水質浄化が可能な環境の再生を図るため、水質浄化効果が期待できる事業（アマモ・コアマモ等の藻場造成等の委託）を実施。</p>								
(5) その他普及啓発等経費 578千円								
3 これまでの取組状況、改善点								
<p>平成21年度は島根県及び関係自治体と連携しながら一斉清掃や座談会等を通じた地域住民等への普及啓発を行うとともに、NPO団体等が行う中海での環境保全活動などへの支援を行った。</p> <p>平成22年は「国際生物多様性年」であるとともに条約登録5周年の節目となり、これを契機にこれまでの取組を総括するとともに、改めて中海について知る機会を提供するなど、次世代につながる取組を推進する。</p>								